

不佞 某謹テ白ス 不佞 未ダ曾テ閣下ト一會

ニ謁見ヲ辱ゾスル 無シト雖凡 謹テ日本并

澳斯土利亞友帝國ノ間ニ関涉スル貿易

上ノ義ニ對シテ願ル 細心ヲ屬シ候者

ニ依テ一言ヲ閣下ニ 左右ニ進呈ス 上懼ニ

及リニ堪元ナシ

不佞 素澳國ノ首都維納ニ生レ同所ニ在リ



相交ケ今又日本政府ノ命ヲ奉シ事ニ官務
ニ従フモノ既ニ二週ノ星霜ヲ送り社中志ル
九ヶ月間ハ横濱税関ハ罷在リ輸入品取
扱ノ事務一切不倭ノ管官方セザルモノ無ク
依テ輸入ニ関スル事不倭亦少シク其歎末ヲ
詳記明辨スルヲ得ルニ至ル社中ハ不倭ノ協力
ヲ願ニス今一二ノ次第ヲ設ケ澳國ニ豐
穰秀美ニシテ且人ヲ待スル位ニ切實ニ日本

島ノ間ニ関涉スル貿易ヲ於一層盛大ニ
ナサント欲シ存々盡力固ヨリ願フ所ナシテ事後
即チ六一大海運ノ至リニ奉存後

並ニ維納府博覧會ハ未嘗内々取扱後物不
ニ及者何レモ精選ノ局キ種出ルニ此分モ其
宜を得歐洲人モ日本國ニ産出ル品物種
類并性質等ニ頗ル想像を起シ可申社中
歐洲人ヨリ日本國ノ物種ヲ秘密ニ判決セシムル

先ツ絹。茶。紙。漆。磁器。等。主。之。及。品。物。を。特
密。に。記。載。し。連。に。彼。地。へ。傳。致。ス。且。最。モ。肝。要。ノ
事。を。更。ニ。於。テ。容。し。所。ナリ

一、プロダクト

生産物ノキチ製造セラル
生カルモノヲコトフ

ニ。性。質。及。分。量

生産物増殖ノ比例

手間料

巧者、モリニ何位
不巧者、モリニ何位

海港迄運送ノ入費

運送ノ時限并

諸員料

衛生税ノ多寡方々等、並付

六、更ニ報告スル肝要タルハシ

ハ。交。維。納。府。ニ。會。ハ。世。界。中。未。也。有。ニ。大。會
ニ。於。テ。年。巴。理。ノ。會。ニ。比。ス。レ。ハ。其。大。小。ハ。三。倍
ニ。至。リ

日本ハ。歐。州。ニ。テ。先。ツ。名。目。を。得。ル。ヲ。要。ス。レ。シ。由
時。何。國。ニ。モ。日。本。ノ。為。シ。照。ニ。ク。年。利。老。ヲ。歌。ハ。セ。リ。其。故
日本、國タル土地豊饒ニ耕作破山ノ富を有シ
百工、伎術頗ル巧ニ且人民ハ性質善良ニシテ
最上ノ位置ニ至ル等皆也、其ノ所ナリ且日本ニ

外國世法の事業ヲ速ニ採用施リスル其敏捷也
然レト欲ハ全國ニ及ビ行スルニ至ラシム然リハ雖モ
今實際施リスル所ノモハ當ニ其一小部分ニ
是レ歐人ノ所今歐洲ニ於テ能ク日本ノ
事情ヲ通知スル輩アル雖モ概テ皆普通
ノ事件ニシテ當ニ鉄道傳信燈明基ノ建築
道路ノ修繕諸港ノ浚渫等ノ事ニテ輸出
入ノ價額國産ノ百物費用ノ諸器產物製不造

ニ其額ヨリ百工ノ給料ニ至ルテ凡ク計算ニ屬
スル報告ノ確然タルハ其ノ知モノ思モ
々般維納村博覽會ニテ日本ノ利を益加スル
十倍ノ多キニ至ラシ故ハ苟モ身ヲ見ノ人ニ
日本國ノ百物ヲ視ノ最モ貴重スハキモノト
注シセザルモノナカン今又人々ニ信用スハキ計
算ノ報告ヲ其ハ是ノ利を益タルヤ否大ニ
取テ極カス可カラザルハシ

澳日支國之貿易も近年より頗る微弱
なり其の故は支國今に至り亦に採り且日
盛大の勢に赴き後依り今茲に至る迄は
出品の貿易上より關係する事情より其
陳述可仕也

澳國は是より支日支國同杯全國皆耕
作に相属す安土地、採採柄、遂に耕作
を及ぶ物不、製法より勵むは採採柄

物も支日支國の地質タル山脈多シテ物不
に亦形も運送ノ不便ヨリ頗る勝劣致シ
今一不運送ノ不便ヨリ海港、地へ相
及ぶは其便二倍或ハ三倍程も至り其支
不地併し鉄道掘割等其業以來右等
其支に改革致し全國の地質も漸く相
勝し船舶の修築造り營い海峯ノ便更
得頗る強富に相地中(トリスト)地ニ於てハ

地ニ於てハ

オーストリアンズロイドト唱ハ莫大ナル急テ元船會社
販立陸分此界ヲ中ヲテ第一トモ稱ス年一
大會社ニ有之彼

澳日友國人民ニ向ニハ元第以善リ其善
操多ク友國民性性質彷彿トシテ互ニ相
一致セシモノ如ク十六年澳國革命
年ニ時迄ハ國体モ封建ノ制ヲ存シ尔後
全國ノ進歩スル日本ト同轍僅カニ數年

ニ向駭マシテ拊取リ

澳日人民ハ上下於一般ニ易リ且其
モ勝ル人種ニテ英國人ノ沈黙佛人
勇猛ナル性質ニモ無ク下等以下ノ人
民ハ日本國ニテ同等ノ人民同儕格質朴素
野ニ快樂ヲ好ミ其將來ヲ慮ルノ意ナク事
已ムヲ得ル者ハ勉メテ相儆キ其時ノ間モ
第ニ其志ヲ希ヒ各安逸ロシテ其將來ノ多

貯蓄田、何者タルヲ知ラズ、當時彼此ノ向立口
甚ク交通、便ヲ計リ、路線モ永久ノ見込ヲ以テ
盛ニ相開カセ

ルツ工作ノ給料ハ英佛ニ比スルニ寧ロ低下ニシテ
上等ノモノニテ一日七十五錢乃至一圓五拾錢下
等ハ五拾錢乃至七十五錢位、奴僕ノ給亦一
年有各料家代共ハ一圓五拾圓乃至三拾圓
下婢ノ給ハ奴僕ノ給三分ノ二ヲ取ル

礦山ニ所産極メテ多シ(プラチナム)、金ヲ除ク、外
凡テ必用ナル銀物一モ産セサル、無シ、其礦山ハ
使役スル人口ハ凡ソ十三萬、其産スル所ノ銀額ハ
其年額圖ヲ下ラス、物産ノ増殖スル一斗一年ヨリ
多シ、就中石炭ノ如キハ倍カニ三年一問ニ
二十五倍ノ増殖ニ至リ、殊ニ發達クベキ塩山ア
リ、全世界中、澳國塩製ノ大ナルヲ知ラサルナシ
今其大畧ヲ掲ケ左ニ特記ス

(ウツリサカハガツシヤ) 州ノ一都ニシテ世界中大
高親ノ一ナル塩山アリコノ塩山ニ在ル道路ノ
線ヲ接續シ世希スル時ハ女長サ東京ヨリ
京都トノ道ヨリ長カルベシ家。武
器庫等々外ノ諸器百物皆塩ヲ以テ作り
軒ヨリ軒ニテ塩橋ヲ接ハ塩以テ一既ヲ作り
凡ソ百頭ノ馬ヲ繫キ時ノ昔ハ昔也一年ノ長キ日光ヲ
見肖得サラシ又各所ニ湖水アリ舟以テ

往来スヘシ又(トニ子ル)アリ塩柱以テ之ヲ支ヘ又
或ハ人像燭臺等裝飾物ニテ塩製ニ
モノ各所ニ散見ス右塩山ノ産出キケ年
々考凡一信一ホ日本ナリ
毛織物ノ製造ハ澳國ニ古キヨリ相傳アリ
大威莫實ニ因リ強弱ニ因リ最所要ナル物
業ナリ凡ソ此十業ノ人口之ニ依テ生ラ祿シ
其製造スル物品ノ價額ハ凡ソニキユル第因

ニ五リ輸出ノ物額ハ九十二万圓ナリ日本テ
得ル所ノ利を頗多トス

ホ綿ノ製造送ルハ盛ニ増進シ使役スル人口又
九リニ増シ婦人女製スル物ノ便額ハ強トト
七子糸圓ニ至ル 戦下禱スカルアルハ不
等日存ニテ清未頗多ト去年中日存
同ハ輸入セシ右糸種ノ便額漢多トる糸
并有條ノ者ニ及リ

麻布ノ製造ハ農夫ノ益子テ業トスル所
ハ於テ至大ニテ女産スル者九リ七子五る糸
圓其人口ハ專業人ト業業人トノ別無ク
凡スル者人トス 硝子ノ製造一々年ト者
九リ十二万圓 右ト者ニ品日存ハ輸入
セシモノ多ク其他様造ノ真珠等去年
中務入ミテ五万圓方條ナルベシ
全日本品ノ産物ハ年々製造多ク九リ千七百

大 雜 書
第圖陶器磁器、製法造方、去年十五
年第圖内、採出スルモノ、許多ナリ、第物、製
法ハ、此ノニ、昔者、餘人ノ人口ヨリ、役ニ、其價ハ
此ノ、此ノ、此ノ、此ノ、手帖等、此ノ、此ノ、
是、既物、此ノ、等、此ノ、キモノ、日本國ニ、其利を得
ル、此ノ、大ナリト云フ

澳國、其貿易、并、職、業、其、既、今、不、以、
一大、歩、ヲ、踏、リ、扱、リ、ス、ル、物、カ、アリ、不、口、積、換

并、(下)リ、スト、ミ、ガ、汽、船、ニ、在、線、ヲ、開、ク、ミ、由
左、右、國、ノ、向、貿易、ノ、関、涉、頗、ル、大、ナ、レ、ハ
右、ノ、企、モ、在、ミ、商、印、見、ル、ベシ

現今、維、納、ニ、在、テ、絹、物、ノ、製、法、造、感、大、ナ、リ
故、ニ、頗、ル、絹、ノ、採、入、多、キ、ヲ、欲、ス、日、本、ヨ、リ、採
入、ス、ル、絹、ハ、他、ノ、外、國、ヨ、リ、採、入、ス、ル、モノ、ト、比、ス、レ、ハ、其
質、美、キ、ニ、シ、テ、價、亦、廉、ナ、リ、依、テ、日、本、ヨ、リ、採
出、ス、ル、此、テ、其、業、主、ナ、ル、物、ハ、澳、國、ニ、テ、遂、ニ、其、業

後ヲ見ルヘシ

澳國第一ノ港ハ「リス」前ニト唱ハ「マ」ニテ「リス」
ノ澳ニ在リ固ヨリ碇泊等隨之ノ場所ニテ
貿易航海ノ為メ最モ肝要ナル港ニテ
第一般ノ破損等修理ノ節ハ造船場武
器庫等モアリ職人ノ技モ極ニ良材モ多ク
加之固ヨリ碇泊陸上ノ場所極好又ニ礼
式作法等ノ節云々「リス」ヨリ進納

と鉄道線お接し全世界中最も廣大
ニ運送スル鉄道ノ一ニシテ「リス」
等名所ニアリテ其長キモノハ二三里ナルモアリ
澳國ノ材木ハ其第一ノ美質ヲ具ヘ造船ニ
用ユルニ宜シ其中南部ノ地ニ産スル桤木ハ
強クトモ堅ク「リス」之ノ伐リ船ヲ
製込スル極メテ堅牢ナル觀ニ美ナリト云フ
澳國ノ内部ハ運轉漕輸ノ不便ナル所也

はふちの事子者之孫百者は白人小はす
後北下交共他陸奥宗光後上野系
と親後或ハ後昇官負之而又或ハ合衆
國公使デロニテ日耳曼ノ後ボンブラント等
人々此は少信れ取取ハおちる中角
あ書より交共トは熟考トハ交支記心
新の及神上神言

ロウスワレニハル

大隈重信殿

閣下

